

どこ  
が  
身  
を  
切  
る  
改  
革  
が  
!  
万  
博  
崩  
壊

ジャーナリスト  
西谷 文和

せせらぎ出版

## はじめに

「すごいよ、アップした初日に、もう10万回も再生されてるわ」  
インターネットTV「デモクラシータイムス」の升味佐江子弁  
護士から電話がかかってきた。「えっ、本当？ ちょっとパソコ  
ン見てみるね」

急いでYouTubeを見る。「風雲急！ 必ずこける!? 大阪  
万博」(図1)と題して放送された回が、急速に再生回数を上げ  
ている。同時に

「見たよ」

「リツイートしたで」

「ホンマに腹たつわ」

「ここまでひどいとは思わなかった」……。

私のSNSに感想が殺到する。この少し後から大手メディアも  
「万博、間に合わないかも？」という報道を始めた。

もっと早くからわかっていたやろ？ 維新(特に松井)に付度



【図1】YouTube「デモクラシータイムス」

して、隠してたんと違うの？ 在阪大手メディアに毒づきながら、デモクラシータイムス万博特集、  
第2弾、第3弾の相談を進める。

そう、今や大阪万博が維新の大逆風になっている。慌てた吉村、馬場が「万博は国の行事ですか  
ら」。言い訳を述べ始め、ポスターまで日本国際博覧会(笑)に差し替えている。あれだけ「大阪万  
博」と宣伝していたのになー。

4月の知事・市長選挙では松井が「大阪万博、府市一体の維新だからこそ誘致できた」と自慢し、  
吉村に至っては「成功させるのは俺だけ」と叫んでいた。それが今や松井は逃げて、記者会見での吉  
村は目が泳ぎ、オドオドと「それでも経済効果は2兆円もあるんですー」と口からでまかせを述べて  
いる。

カジノでもそうだが、この「経済効果」が曲者で、視聴者は「ふーん、そんなものか」と聞き流  
す。でもこれは明らかなウソ。しょぼい万博の入場料7500円を支払い、夢洲に行つて回転寿司  
を食べたとする。確かにこれで2万円程度の「効果」はある。

しかし、その人は会社命令で無理やりチケットを買わされ、酷暑の中、仕方なく「どこでも食べら  
れる普通の寿司」を食べた。本当ならUSJに行きたかったが、我慢した。万博で2万円の「効果」  
は、USJの方が楽しく、その後ホテルに泊まってくれたとしたら5万円の「効果」を犠牲にしたも  
の。つまり最低でも差し引きゼロ、下手したら「あまりにもしょぼい万博、日帰り」となりマイナス

かもしれない。

カジノはもっと悲惨だ。松井、吉村、馬場などが口を酸っぱくして、「何兆円もの経済効果で、大阪は儲かりまっせ」と言う。カジノで大負けした客の掛け金は、カジノがなかったら、地元のレストランで家族と食事ができたお金、子どもと一緒に海水浴に出かけることのできたお金、でもある。

もし、町工場の社長がカジノにはまって倒産させてしまえば、従業員は路頭に迷う。明らかな損失。お隣韓国での試算によれば、カジノの経済効果は賭場で上がる収益年間2兆円に対し、依存症対策や失業した人への手当、反社会的集団いわゆる「その筋の人たち」対策費、犯罪が増えることに対する警備費などで年間7兆円の出費。差し引き5兆円！のマイナスなのである。

インジンを高々と持ち上げて「今からウソのような本当の話をします」。お前はネズミ講の親玉か！と突っ込まれたマルチ吉村が、またまた「万博で経済効果2兆円」の大ウソ。有権者よ、今度こそダメされないでくれ、と願うのは私だけではないはずだ。

彼らは「ギャンブル依存症対策をしますから大丈夫」と言う。2023年10月、奈良県斑鳩町で維新の大森恒太郎議員が自治会費の使い込みで逮捕された。使い込んだ金はギャンブルなどの遊興費に消えて、子どもたちが楽しみにしていた村祭りが中止になった。「大阪府民にギャンブル依存症対策をする」と言う前に、自分たちの子分に対策しろ！

「コントみたいやね」

「吉本より面白いわ」

「笑った後に猛烈に腹がたった」

これらはYouTubeを見た人のコメントである。デモクラシータイムスの特集は、8月に「いよいよピンチ！大阪万博」。9月に「いよいよダメかも？大阪万博」とシリーズ化して、合計で85万回（10月末現在）も視聴されている。そして、この動画を見た人が、その内容を別の動画で拡散してくれているので、ネットの世界では「中止せよ」との声が圧倒的になってきた。

4月の統一地方選挙で圧勝した維新の勢いは、もうない。一方、岸田内閣は物価高を放置し、武器を爆買いしながら、生活困窮者を切り捨てていくので、支持率を急降下させている。だからこそ「維新はもつとダメ」の声を大きくしないと、危ない。なぜなら「自民はイヤやから、万博の失敗は許したる。仕方ないけど維新に入れる」人が、まだまだ存在するからだ。

「どうせ吉村やる」。これは4月の大阪府知事選挙前に、街でささやかれていた一種の「嘆き」である。テレビに出ずっぱりで、吉本芸人がヨイショする現職の吉村に対して、カジノ反対の候補が分裂した。事前の世論調査で「吉村圧勝」と報道される中での現象であった。「俺が行ってもアカンやろ」「私、入りたい人いないわ」。どうせ吉村やる、の嘆きの背景には「吉村ではイヤだ」と感じている有権者が多数存在する、ということ。

だからこそ、「自民も維新もイヤだ」という人々に対して、第三極を作って「この人に任せてみた

い」「この集団なら勝てるかもしれない。次は選挙に行ってみよう」という雰囲気にする。展望が持てる展開にして投票率を上げるのだ。それは中央ではなく、地方自治体から始まるかもしれない。

第1部では大阪万博の破綻、第2部では日本政府の破綻、そしてそれを変革する展望をルポと対談形式で綴らせてもらった。どうか、最後までお読みいただき、万博、カジノ中止。自民はアカン、維新はもっとダメという声を広げていただきたい。

2023年10月

西谷文和

※本書ではすべて敬称略としています。

## 目次

はじめに ..... 2

### 第1部 まだ間に合う、ストップ！ 大阪万博

#### PART・1 建設が遅れる夢洲から万博問題を総まとめ

【ルポ】ジャーナリスト 西谷文和・おおきか市民ネットワーク代表 藤永のぶよ ..... 11

2023年夏、いまだに更地が広がる万博会場 ..... 12

軟弱地盤を前にして、逃げ出すゼネコン各社 ..... 15

上下水道の処理能力不足で立ち並ぶ仮設トイレ ..... 19

大渋滞が予想される、会場に向かう橋とトンネル ..... 22

「いのち輝く」はずなのに、人命にかかわる危険と隣り合わせ ..... 25

東京オリンピックと同様、見え隠れするどす黒い構造 ..... 28

関係者もマスクも感じ始めている万博の失敗 ..... 31

夢洲を決定づけた松井元大阪市長も万博から逃走？ ..... 35

PART・2 万博もカジノもいらない。真つ当な政治を取り戻す

【対談】日本共産党前参議院議員 たつみコータロー …… 39

法律を守っている間は間に合いそうもない万博工事 …… 40

建設労働者の命をむしばむ夢洲の土壤汚染 …… 43

お酒の場で「思いつき」のように始まった夢洲での万博 …… 46

大雨が降れば、夢洲から帰れなくなる遠足の子どもたち …… 49

談合によって不当に安く設定されたカジノの土地の賃借料 …… 53

大阪万博は、ダメな政治家に行政を任せてしまった失敗事例 …… 57

第2部 自民、維新から日本を取り戻す

PART・3 なぜ維新が伸びるのか？ その謎を解き明かす

【対談】思想家 内田樹 …… 61

維新支持の底に感じられる、暴力性や差別意識への共感 …… 62

平気でその場のしのぎのウソが言える、維新の「強さ」 …… 65

若さとイメージ戦略の選挙戦に、実力や見識はいらない …… 69

「道頓堀プール」と同じ失敗の道を歩んでいる大阪万博 …… 72

「支えあう思想」によって、優性思想やファシズムに対抗 …… 77

アメリカへの属国根性を持つことが総理大臣の条件 …… 81

43兆円の武器を買い込んでも、動かす人がいない自衛隊 …… 85

高度な民主化ブランドのもとで「台湾有事」はあり得ない …… 88

一方で、この10年間で日本の平和ブランドが劣化した …… 92

地方自治体から始まる、教育や医療、少子化対策などの改革 …… 94

PART・4 戦争やカジノに代わる「新しい公共」を地方から

【対談】経済学者 金子勝 …… 99

誰の目にも明らかになったアベノミクスの大失敗 …… 100

インフレで庶民から搾り取ったお金を防衛費に …… 103

官僚とメディアに圧力をかける「静かなクーデター」 …… 106

「台湾有事」をおおって、アメリカの兵器を爆買い …… 111

圧力のもと、次々と降ろされていったコメンテーターたち …… 113

PART. 1

建設が遅れる夢洲から  
万博問題を総まとめ

ルポ

ジャーナリスト

おおさか市民ネットワーク代表

西谷 文和 & 藤永 のぶよ

第1部

まだ間に合う、  
ストップ！ 大阪万博

30年間で見る影もなく衰退していった日本の産業……………118

戦略なく、ひたすら内部留保をためるだけの経営者たち……………122

賃上げも設備投資もしない、株価中心の経営に……………126

雨ガッパとイソジンに騙されてはいけない……………131

三代目、四代目の世襲議員が日本をダメにする……………133

失敗の責任を誰もとらない日本の政治、日本の社会……………135

無策を続ければ、大阪は夢洲とともに沈んでいく……………139

地方と女性が主役の「周辺革命」に期待を込めて……………143

おわりに……………148

## 2023年夏、いまだに更地が広がる万博会場

23年8月お盆明けの猛暑の中、おおさか市民ネットワーク代表の藤永のぶよさんと夢洲を訪れた。藤永さんと一緒にここに来るのは、8月だけですでに5回目。私たちはすでに「万博問題追及オタク」(笑)と化しているのだった。

大阪南港(咲洲)から夢咲トンネルをくぐって夢洲に入る。「ちよつとちよつと、全然トラック通ってへんやないの。まったく工事してへんで」。藤永さんの指差す方向に広大な敷地が広がる。4月に来たときは、土砂を積んだ大型トラックがビュンビュン走っていたが、8月はガラガラ(写真1)。万博の華といえるパビリオン工事がまったく進んでいないので、重機も動いていないし、トラックも来ないのだ。「万博北東ゲート」の看板前で車を止めようとする、いつものように警備員が走ってくる。



【写真1】8月の夢洲は工事が止まったかのようにガラガラだった。

「すみません、ここ大型車両の出入り口です。危険です！止まらないでください」

「撮影させてよ、5分でもいいから」

「5分もあかん」

「今日、車少ないね。全然危ないやん」

「はい、でも撮影はダメ」

「ここは公道やろ。何で邪魔するの？」

「いろいろあるから」

「いろいろってどんなこと？」

「それをしゃべれば秘密じゃないんで、ご遠慮ください」

「ふーん、隠さなアカン秘密があるの？」

「はい、なので早く移動してください」

ガンとして駐停車を許さない。「絶対に写真を撮らせるな」。維新の上の方から命令が下っているのだろう。

警備員の目が届かない秘密の場所に回り込んで撮影開始。

「地下鉄延伸工事を行っています。24年3月まで」

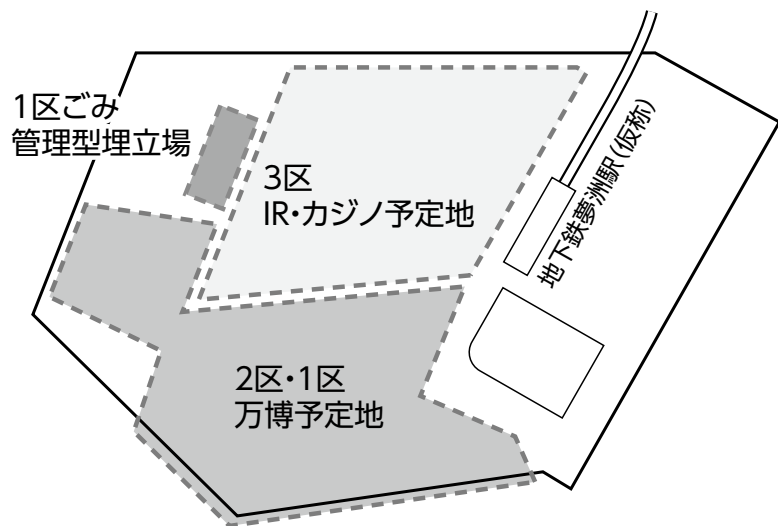
「駅の出入り口を作っています。令和6年8月まで」

が完了し、現役のトラックターミナルとして関西圏の物流を支えている。

### 軟弱地盤を前にして、 逃げ出すゼネコン各社

4つの工区のうち、万博は2区と1区の一部、カジノは3区に建てられるのだが、この地盤に関して藤永さんが情報公開請求をかけていた。出てきたデータによると、万博とカジノ予定地は地下57メートルまで「N値5」だった。「N値」とは何か？ 重さ63・5キロの重りを高さ75センチメートルから自由落下させ、30センチ沈むまでに落下させた回数をいう（次ページ図3）。10回落として30センチ沈めばN値は10。柔らかいほど少ない回数で沈む。

この場所はわずか5回で30センチ沈んだ。ち



【図2】4工区に分かれる夢洲

大きな2つの看板が目立つ。パビリオンと違って、地下鉄工事は予定通り進んでいるようだ。ここでドローンを飛ばす。写真2の右手に広がる雑草で覆われた部分がカジノ予定地。左手の重機が並ぶ広大な空き地が万博予定地だ。中央やや左に小さなヤグラのような建物が見える。これは円形通路の一部。360度の円形のうち、できているのが2〜3度くらい。こんなんでホンマに間に合うのか？

維新は「世界最大の木造建築物になります」と胸を張るが、仮に通路ができて肝心の中身、パビリオンがない。このまま強行すれば、「大阪更地万博」(笑)だ。

夢洲はゴミと川底、海底をさらえた浚渫土砂<sup>※1</sup>で埋め立てられた無人島である。図2に示すとおり、4つの工区に分かれていて1区がゴミの焼却灰、2、3区が浚渫土砂と建設残土、4区はすでに埋め立て



【写真2】右手に広がる雑草で覆われた部分がカジノ予定地。左手の重機が並ぶ広大な空き地が万博予定地。中央やや左に小さなヤグラのような建物が見える。これは円形通路の一部。



なみに2階建の一般的家屋を建てる場合、最低でもN値20が必要で、高いビルやマンションはN値50以上ないと建たないのである。

つまり、N値5というのは保育園の砂場レベル(泣)。こんな所に高層のカジノビルを建てようと思えば、海底の岩盤まで届く長さ80メートルの杭を何百本も打たねばならない(図4)。そんなことになれば、杭は1本約1億円。数百億円に及ぶこの「杭打ち費」は誰が出すのか？

お金の問題と並んで深刻なのが、「無理にビルを建てたら沈む」ということ。たとえば、新関西国際空港は、空港を作るために良質な山土で埋め立てられた。それでも自重でズブズブ沈む。18年の台風直撃で空港島が水没し、旅行者が3日も閉じ込められたことは記憶に新しい。

一方、夢洲は上に物を建てようとして埋め立てら

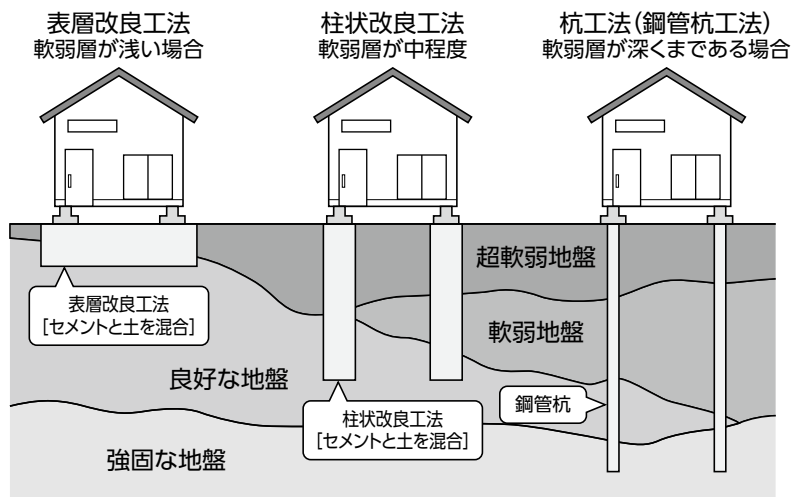
れたわけではない。ゴミの処分場だ。ここに巨大なビルを建てれば不等沈下<sup>※2</sup>を起す。つまり、ビルは傾いて沈んでいく。ピサの斜塔のようなカジノビル、ルーレットの玉が飛び出すかもしれない(笑)。ある意味、「世界遺産」になるかもしれないが。

さて万博である。パビリオンには3種類あって、各国が独自にお金を出して流麗なデザインで演出するのがタイプA、万博協会が建てたパビリオンを棟ごと間借りするのがタイプB、複数の国が共同で借りるのがタイプCである。当然、万博の華はタイプAで年配者は70年万博のアメリカ館、ソ連館をイメージする方も多いだろう。

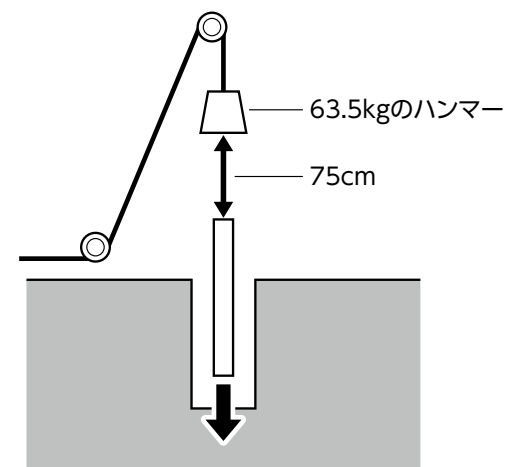
でもこのタイプAが建たない。

資材と人件費の高騰が原因の一部ではあるが、真の問題は「杭を打たないと満足なものが建たない」「そうならば建設費は爆上がりする」ということ。

この原稿を書いている時点(23年10月5日)で、



【図4】 超軟弱地盤の場合、強固な地盤に届くまで杭を打たなければならない。



【図3】「N値」とは、重さ63.5キロの重りを高さ75センチメートルから自由落下させ、30センチ沈むまでに落下させた回数をいう。

建設申請を出したのがチェコのみで、出そうとしているのが韓国とモナコ。このままだと「大阪万国博覧会」ならぬ、「大阪4カ国博覧会（日本含む）」つまり大阪四博だ（笑）。大阪に4泊5日か！とツツコミが入りそう。

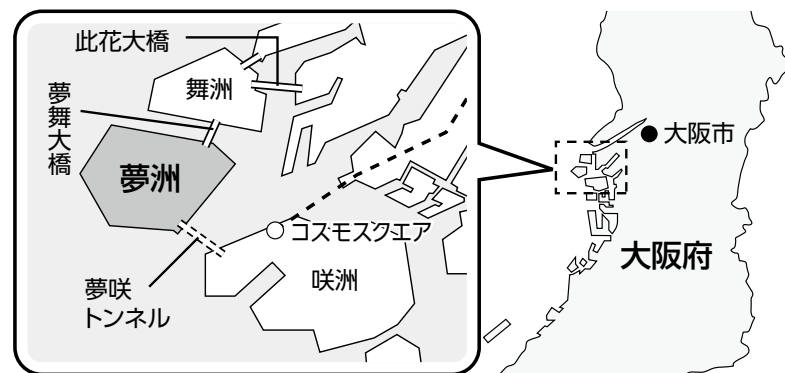
パビリオンを下手に残すと、強風で飛んで行く、地震で倒壊するなどのおそれがあるので、万博が終わればすべて撤去。杭は打つより抜く方が難しい。つまり「大阪使い捨て万博」なので、杭抜きを含む解体工事にも金がかかる。

「こんな条件ではできませんー」

これが各国の本音。建設を請け負うはずのゼネコンも手を挙げないので入札不調が続く。

なぜか？ 「100億円を受けた仕事は、おそらく150億円に上振れる。上振れ分は誰が保証してくれるのか？」ゼネコンとしては、こんな危険な工事に付き合ってはられないのだ。

悪条件の中で、あと1年半。図5に見るとおり、夢洲は橋とトンネルでしか行けない。仮に契約が成立し、いつせいに



【図5】 夢洲に通じる道は、橋1本とトンネル1本だけ。

工事が始まると、資材を積んだトラックは渋滞する。2024年に働き方改革による残業規制が始まるので、労働者をこき使うことはできず、シフトを組んで工事にあたるので、大量の労働者を雇わねばならない。人件費はさらに高騰するだろう。だからゼネコンは逃げた、当然だ。

窮余の策として「パビリオンを浮かせる」ことにした。敷地内の埋め立て土砂を取り除き、その土砂より軽い建設物なら「浮く」。しかし2階建以上は無理。高いものにすれば重くなって沈むし、下手に地下室を作れば、そこはぐちゃぐちゃのヘドロ層だ。だから軽いプレハブを置くしかない。このまま強行すれば「大阪プレハブ万博」である。

### 上下水道の処理能力不足で立ち並ぶ仮設トイレ

2023年8月6日、広島に原爆を落とされた78年目に吉村知事は関西コレクション、つまりファッションショーに出演した。大阪にも被爆者はたくさんいる。知事は犠牲になった方々を追悼し、核兵器禁止を願う人々の声を真摯に聞くべき責任があるはず。もうこの事実だけで吉村がどんな人物かを物語っている。照れ笑いを浮かべ、モデルとして会場を一回りした後、司会者の質問に答えて「万博には3千万人がやって来ます」「空飛ぶ車が会場の上を自転車みたいにくるぐる回っています」と、のたまった（次ページ写真3）。

本当に3千万人来たとするれば、1日あたり約16万人。土日や3連休は30万人が押し寄せる日もある

だろう。もし本当にやって来たら水道、下水、電気はどうなるのか？

藤永さんが港湾局に粘り強く情報開示を求めていたが、その貴重なデータが2023年8月31日に公表された。私も大阪南港（咲洲）の港湾局について行ってそのデータを受け取った。港湾局の説明によると、今から上下水道を夢洲に通して、上水は1万8千m<sup>3</sup>で1日約8万人分、下水も1万9千m<sup>3</sup>で1日2万7千世帯分。1世帯3人とすれば約8万人分、上下水の処理能力はきれいにそろっている。

「吉村さんは3千万人来るって言っていましたよ。1日30万人来たらどうなるんです？」

私の質問に、港湾局は「超えた分は自家処理になります」

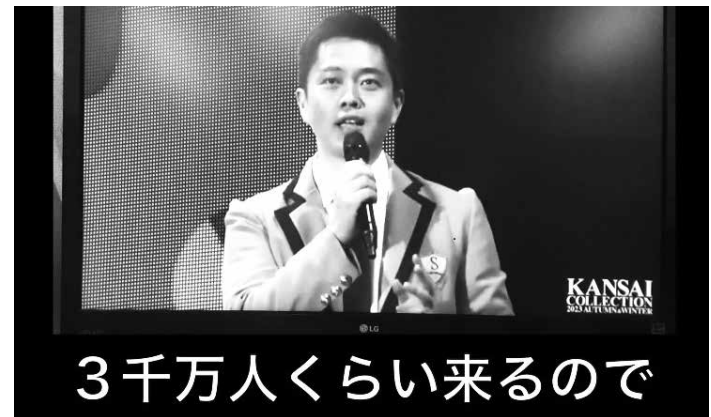
そう、夢洲のどこかに穴を掘っておき、あふれたウチは溜めていく。溜まった汚水をポンプで圧送するというが、容量を超えた汚水はどうするのか？ バ

キュームカーならぬ「バキューム船」がやってきて、此花区の下水処理場に運ばざるを得ないのではないか。

「バキューム船」が予定どおり来れば「大阪くみ取り万博」になる。この事態を避けるためには、受付で万博来場者にペットボトルを手渡し「ちよつとずつ飲んでね」とお願いする一方、会場に仮設トイレを林立させる。工事現場や村祭りですんでいるボックス型の簡易トイレである。営業時間を夜に限って、できるだけトイレに行かないようお願いしつつ、短時間で帰ってもらう。もうここまで来たら、「万国盆踊り大会」にすればどうか？

夏の3日ほど、夢洲で一晩中踊り倒して、隣の売店では吉本の芸人さんがたこ焼きを焼いている。3日だけならそれほど沈まないし、金もそれほどかからない。冗談ではなく、それほど危険な場所で、税金を湯水のように使いながら無理やり強行しようとするから、こんな対案を出さざるを得ないのだ。

橋下徹はよくテレビで「批判するなら対案を出せ！」と吠えていたが、真の対案は「万博中止」だ。そして「こんな事態になった責任を明らかにせよ」と迫ること。残念ながら在阪メディアが維新と吉本興業の側について追及が甘。大手メディアがやらないので、万博問題はミニコミラジオで引き続き追及していくつもりだ。



【写真3】関西コレクションに出演した吉村知事は「空飛ぶ車が会場の上を自転車みたいにぐるぐる回る」と、万博をPR（あべの経済新聞 & OSAKA STYLE）